

【鴻池新田会所】

(東大阪市人権文化部文化室文化財課)



国史跡 重要文化財
鴻池新田会所

外観・内観・位置図等

【施設外観】 本屋正面



【施設内観】 本屋土間



【施設周辺地図等】



基本情報

開設年度	平成9年度	設置者	東大阪市
設置目的	国史跡・重要文化財を保存継承し、市民の郷土理解と文化的向上に貢献する		
主な事業	・鴻池新田会所の魅力伝え、郷土愛をはぐくむ取り組みを行うこと ・鴻池新田会所の展示・公開に関すること ・鴻池新田会所の維持・管理に関すること		
所在地	東大阪市鴻池元町2-30		
最寄駅	JR学研都市線 鴻池新田会所駅より南東へ約500m／徒歩約5分		
開館時間	午前9時30分～午後17時		
施設内容、利用料金	・観覧料 個人(高校生以上) 1人1回につき300円 団体(20人以上) 1人1回につき250円 ※令和2年度まで(令和3年度条例改正により観覧料変更) 個人(高校生以上) 300円、団体250円 小学生・中学生 200円、団体150円 ・施設(貸室)使用料 居宅10畳(1,500円／午前、2,300円／午後、3,800円／日) 居宅14畳(2,100円／午前、3,200円／午後、5,300円／日) 乾蔵(5,600円／午前、8,400円／午後、14,000円／日)		
R4年度観覧者数	5,654人		
令和4年度の指定管理者	東大阪市文化振興協会 <令和4年度指定管理料> 34,188千円		

過去5年間の利用状況・収支情報

利用状況

	H30	R1	R2	R3	R4
観覧者数	7,876	8,660	3,871	4,676	5,654
施設使用者数	1,402	1,014	173	378	387

※観覧者数に施設使用者数含む

収支情報

収入	H30	R1	R2	R3	R4	5年間 合計
市管理委託料収入	34,417,000	34,285,000	34,188,000	34,188,000	34,188,000	171,266,000
自主事業収入	0	0	15,500	16,300	13,000	44,800
支出						
事業費	12,129,143	12,537,079	11,482,251	16,057,858	—	52,206,331
人件費	21,906,096	21,623,296	21,376,000	16,507,000	—	81,412,392
管理費	1,530,000	1,544,000	1,558,000	1,504,000	—	6,136,000

※R4の支出についてはまだ算出されていないため「—」としています。

施設の特徴

鴻池新田会所は、江戸時代に豪商鴻池家が開発した新田の管理・運営を行った施設です。敷地は1976年に国の史跡に指定され、1980年には本屋、屋敷蔵、道具蔵、米蔵、文書蔵と本屋と米蔵の棟札、御札が重要文化財になりました。10,662㎡の敷地には、本屋、蔵のほか、長屋門、居宅などの伝統的な建物群と庭園が残されています。

一般公開後20年以上を経過し、経年劣化等のため、令和5年度より耐震工事を行い、令和7年度中の再オープンを予定しています。



指定管理者が行う業務内容

【鴻池新田会所の維持・管理に関すること】

- ・適正な管理と管理記録の作成・保管
- ・修理・修繕などの取り扱い
- ・来館者への対応
- ・鴻池新田会所資料台帳(データ)の更新
- ・寄託・寄贈品等の取り扱い

【鴻池新田会所の展示・公開に関すること】

- ・所蔵資料の取り扱いに関する業務
- ・常設展示、企画展示に関する業務

【鴻池新田会所の魅力を伝え、郷土愛をはぐくむ取り組みを行うこと】

- ・子ども向け事業、学校教育との連携による事業
- ・体験・学習事業
- ・鴻池新田会所の設置目的を踏まえた来館者を増やす取り組み

【鴻池新田会所の広報及び出版に関する業務】

【地域との連携、ボランティア活用に関する業務】

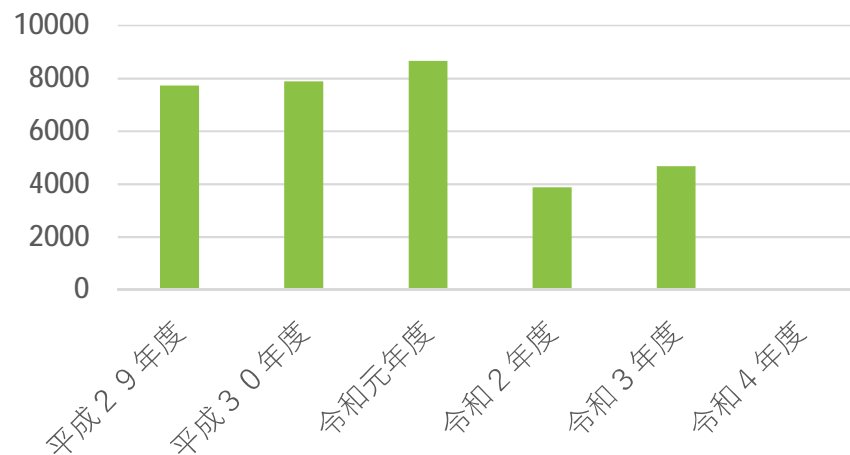


米蔵

施設の課題

◎観覧者数の減少

鴻池新田会所観覧者数



小・中学生などの団体客を除くと60代以上の高齢者が多い

駅も近く、立地も良いが利用者数が年間1万人に達しておらず、活用が不十分である

◎展示・企画イベントが例年同じようなものになっているため、客層に広がりが無い

民間事業者に対して期待すること

◎今まで管理委託料の中で運営を行っているが、利用料金制を取り入れた運営

◎他の文化財施設と合わせた一体的な管理運営

◎鴻池新田会所(蔵・土間)の特性を活かした展示
・企画イベントの立案

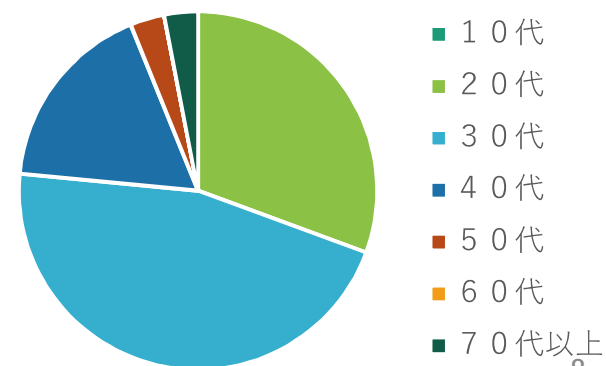


米蔵

◎敷地が史跡のため、給排水設備を整えることが難しいため、敷地内の飲食等については行っていないが、飲食等の試みについて

◎貸室については、コスプレ等の撮影・婚礼等の前撮り撮影での使用が多いため、ターゲットを絞った集客の工夫

R4貸室利用者の年代の割合



最後までご覧いただき
誠にありがとうございました。
個別相談会にもぜひご参加ください！！

【お問合せ先】

担当所属：東大阪市 人権文化部文化室文化財課

電話番号：06-4309-3283

メール：bunkazai@city.higashiosaka.lg.jp